

学習展開例（第2学年 音楽）

※集団で歌を歌ったり、合唱したりする活動は極力さける。
 設定する必要がある場合は、マスク着用はもちろん、体育館等広い場所で、十分に間隔をとる、換気する等の
 万全の感染防止措置を講じること。

○は、年間を通して行う。 担当（小島）

教科書の 順番	学期	教材名	領域	学習目標	標準 時数	学習展開例		想定 時数
						学校（みんな）ですること	家（一人）ですること	
1		夢の世界を	歌唱— ア	歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって合唱しよう。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・曲を聴き、イメージをつかむ ・曲想やパートの役割を感じながら聴き、表現を考える ○曲は、給食時間・休憩等に流し、親しませる ・器楽の曲を知る ・家庭で練習した曲を伴奏や異なるパートや歌と合わせる ・音符、休符、記号の名前や長さ、意味を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習する曲や自分な好きな曲を、歌ったり聴いたりする ・自分の歌声を意識して歌う。 ・歌詞の内容や曲想を考えながら歌ったり聴いたりする ○リコーダーの練習計画を立て、練習する ・音符、休符、記号の意味や長さを確認しながら練習する ・練習曲、「Edelweiss」「春」など、自分で計画を立てながら挑戦する 	
4	翼をください	歌唱— ア, ウ	曲想を感じ取り、パートの役割を理解して合唱しよう。					
5	My Voice!		自分の思いを歌声にのせよう！					
2	BINGO GAME		音符、休符、記号などの名前を確認しましょう。					
器 楽	◇アルト リコーダー LESSON 2, 3 (p.10~15)	器楽— イ	リコーダーを演奏しよう。					
器 楽	◇ラヴァーズ コンチェルト (p.52)	器楽— ウ	パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏しよう。					
器 楽	◇Edelweiss (p.56) / 春 (p.57) 他	器楽— ア, ウ	パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合奏しよう。					
13		花の季節	歌唱— ア	速度の変化を工夫して歌おう。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・「花の季節」「フーガト短調」の曲を聴き、速度の変化や旋律の重なりや面白さを感じる ・グループで、リズムアンサンブルのテーマを決める ・実際にリズムを重ねて感じながらグループで表現を工夫する ・できた音楽を発表し合い、構成やリズムの重なり面白さを聴き合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで決めたテーマに合う表現を考える ・身近な音楽から、リズムの重なりからどのようなイメージが伝わるか、どのような工夫がされているか考えながら聴く 	
16	◎フーガト短調	鑑賞— ア	旋律が追いかけるように重なり合っていくおもしろさを味わおう。					
3	RHYTHM GAME		下の図を使ってリズムをつくりましょう。					
15	Let's Create!	創作— イ	構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくらう。					
8		◎ア カベラの合唱曲	鑑賞— ウ	ア カベラによる響きの美しさを味わいながら聴こう。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・「ア カベラの合唱曲」「Kum Ba Yah」を音の重なりを感じながら聴いたり、口ずさんだりする ・和音から旋律を考える ・できた旋律を発表し合う ・「交響曲第5番 八短調」を聴き、思い浮かぶ情景とどのように考えた理由を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・和音や旋律に興味をもち、身近な音楽に親しむ ・ベートーベンやベートーベンが作曲した楽曲、その時代の文化等について調べる 	
9	Kum Ba Yah	歌唱— ウ	ア カベラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。					
14	My Melody	創作— ア	和音の音を使って旋律をつくらう。					
17	◎交響曲第5番 八短調	鑑賞— ア	曲の構成に着目して曲想の変化を味わおう					
10		心の歌 荒城の月（共通教材）	歌唱— ア	歌詞や旋律が醸し出す雰囲気味わいながら歌おう。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統芸能の特徴を感じながら聴く ・日本の音楽の歌詞の内容や曲想の特徴を考えたり味わったりする ・世界各地の音楽を聴く 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統芸能について調べる。 ・日本の音楽を歌ったり聞いたりする ・世界各地の音楽に関心を持ち、聞いたり歌ったりする 	
24	歌い継ごう 日本の歌	歌唱— ア, ウ	地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。					
20	◎「新版歌祭文」「野崎村の段」から	鑑賞— ア, イ, ウ	日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。— 文楽（人形浄瑠璃）—					
19	長唄「勸進帳」から	歌唱— イ	声や音楽の特徴を感じ取って唄おう。					
21	◎日本の郷土芸能/受けつごう！郷土の芸能	鑑賞— イ, ウ	人々の暮らしの中で受けつがれてきた日本の郷土芸能に親しみ、そのよさを味わおう。					
22	◎世界の諸民族の音楽	鑑賞— イ, ウ	世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。					
18		◎「アイーダ」から	鑑賞— ア, イ	オペラに親しみ、その音楽を味わいながら聴こう。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラの特徴について、調べたことを出し合ったり、「『アイーダ』から」を聴き、登場人物の気持ちを想像しながら聴いたりする ・自分の歌いたい曲を選び、自分なりのイメージを持つ ・考えたイメージや表現方法を交流し、合唱曲のイメージを共有する ・声を合わせて、表現を工夫しながら、合唱する 	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラについて、教科書等で調べる ・選んだ曲から、どんなイメージ・表現方法にしたいか考える ・共有したイメージに合うよう、表現方法を考えながら練習する 	
6	心の歌 夏の思い出（共通教材）	歌唱— ア	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。					
11	メッセージ	歌唱— ア	歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌おう。					
25	心通う合唱		仲間といっしょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。					
7	夏の日の贈りもの	歌唱— ア, ウ	旋律の音の動きや強弱の変化に注目して、歌い方をくふうしましょう。					
23	指揮をしてみよう！		指揮をするときのポイントをつかもう。					
教材は、学校実態により調整する					35			